

大山の森だより

2014年冬号



比べてみれば、一目瞭然。一日に降る量は10cmでも、一週間続けば、ごらんの通り。



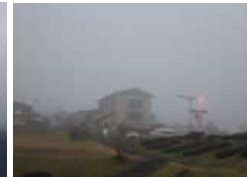
家から一歩外に出れば、どこでも遊び場に。
大山の子どもたちが、寒さに強いのは理由があります。

バイクにチェーンを巻いて。



こいつの活動する時期になりました。

秋から冬にかけての大山周辺での出来事



皆既月食、台風接近、霧水、初冠雪、濃霧、毎年ある事から、毎年は無いのまで、自然の影響いろいろ。



今年は(も)Sea to summitと一斉清掃が同じ日に。
可燃、不燃併せて538.5kgのごみが回収されました。



大山情報館の外壁が
塗装がされて綺麗に。



三徳山の国立公園編入を機に、
大山パークガイドリニューアル決定！



まきは祭り、稚児行列、バーガーフェスタ、絵灯笼&和傘ライトアップ・・・と、秋は観光イベントも満載でした。

来年度には、
三徳山地域に加え、
表紙も中身も新しく
なって発刊予定！



発行：自然公園財団 鳥取支部 大山事業地
〒689-3318鳥取県西伯郡大山町大山40-33 (大山情報館1階)
TEL：0859-52-2165 FAX：0859-52-2371
URL：<http://www.bes.or.jp/daisen/>



『冬芽特集』

冬ならではの植物の楽しみ方として、冬芽観察があります。スノシューをはくと雪の中を森の奥や藪の中へ難なく入って行くことができます。そうすると花や葉っぱだけで観察していたものが、芽を観察することにより、より幅広く植物の実態に迫って行くことができます。冬芽とは、落葉樹が秋葉を落とし、春に再び芽吹くため準備されたものです。

冬芽は夏頃から作られはじめ、冬の前に冬芽となります。秋になると葉にアブシジン酸(植物ホルモンの一種で、落葉促進物質、すなわち休眠・老化を促進し生長・発芽を抑制する)という物が形成され、芽にアブシジン酸が多くなると越冬するための冬芽となります。

1. 冬芽の種類

①鱗芽(りんが) 芽鱗(がりん)をもつ冬芽



大山を代表する樹木(写真左)

これまた大山を代表する木です。秋にはたくさんのナラタケ(ザーザ)が出来ます。(写真右)

②裸芽(らが)

芽鱗をもたない冬芽。



冬芽なし

③隠芽(いんが)

葉痕(ようこん)やその付近の枝の中にあつて外からは見えない冬芽



毛に覆われることが多い

2. 冬芽の形

①半球形 イチョウ

②球形 サンショウ、ニワトコ

③卵形 イタヤカエデ、ヤマブドウ

④水滴形 ブナ

⑤円錐形 オニグルミ

⑥円筒形

⑦おむすび形 クリ



冬芽は球形

早春の芽吹きをテンプラに

3. おもしろ冬芽



まるで飛騨高山特産「さるぼぼ」にそっくり。

別名バルタン星人、鉄腕アトム



冬芽はタカのツメに似る

4. おもしろ葉痕(葉が枯れ落ちたあと)



オニグルミ
来年は”ヒツジ”の年



クズ
まるでサル顔のよう



ウリノキ
〇字形で冬芽を囲む



ハルニレ
三角帽子をかぶっている

5. 冬芽いろいろ



マンサク
”まず咲く”からマンサク
一番最初に花が
咲く木です。



キブシ
漢字で木五倍子と書きます。
”お歯黒染”の代用に。



ツノハシバミ
実はヘーゼルナッツのよう、
もちろん食用可。



ヤマボウシ
この実はたいへん美味。



ツタウルシ
丸いモノは実です



タラ
葉痕はほぼ1周する



コシアブラ
ご存じ春の山菜の女王



ダンコウバイ
春には良い香りが



クサギ
馬の蹄鉄に似る



アキグミ



イタヤカエデ



イワガミ



ウリハダカエデ



ウラムスザクラ



クマシデ



コハウチワカエデ



コマユミ



ツリバナ



ツルアジサイ



ナツツバキ



ナナカマド



ハウチワカエデ



ハナイカダ



ヒメヤシャブシャ



マルバ



ムラサキシキブ



ヤマト
アオダモ



ヤマヤナギ



リョウブ

『自然ふれあい事業』 (活動報告/10~11月)

自然公園財団では、年間を通して、様々な観察会を開催しています。
観察会の実施状況やイベント募集は、HPにも掲載しておりますのでご覧ください。

『烏ヶ山と鏡ヶ成湿原観察会』 10月11日(土)



個性豊かな面々です。

まずは、安全第一。

今回は散策と登山の
二班に分けて実施。
象山や擬宝珠山などに登りました。

『大山秋の味覚散策会』 10月25日(土)、11月8日(土)



10月は元谷まで歩き、11月は横手道へと足を延ばしました。
歩きに歩き、お腹を空かせ、秋の味覚も楽しみました。

『大山歴史散歩と精進料理』 11月22日(土)



いつも同じじゃ飽きが出る。
という事で、今回は、
阿弥陀堂コースへ。

大山寺の歴史を勉強した後は、
観証院にて、御本尊を拝観。
大山信仰の奥深さ此処にあり。

『奥大山古道ウォーク2014』 11月9日(日) 江府町奥大山古道保存協議会共催事業



信仰深い約100名の参加者。
人や馬・牛が往来した
大山道を歩きました。

御机では、団子汁やおにぎりが
振る舞われ、下蚊屋では
荒神神楽を満喫しました。

イベント予告(下記は全てスノーシューを使って歩く観察会です。)

『大山冬芽観察会』

1月10日(土)、24日(土)、¥2000
各日とも、9時30分~13時を予定。
色々な冬芽を探して歩いてみよう!

『巨大ブナ観察会(中の原)』

2月21日(土) 9:30~13:00、¥2000
大山の巨大ブナ。
冬の時期だけのお楽しみ。

『奥大山巨木観察会』

3月21日(土) 9:30~15:00、¥1000
今は無き鏡ヶ成の巨大ブナ。
でも、きっと新しい発見が!

『アニマルトラックキング』

2月7日(土) 9:30~13:00、¥2000
動物の足跡に、食べ残し、落し物。
冬だからこそ、分かるものもたくさんあります。

『冬の虫観察会』

3月7日(土) 9:30~13:00、¥2000
ピョンピョン。ジ~っと。雪の上や
雪の中にも虫は居るんです♪

参加費の中に保険代、昼食代(鏡ヶ成を除く)が含まれます。
スノーシュー貸出の場合は、別途1000円が必要です。
1/10~3/7の観察会は情報館集合、3/21は鏡ヶ成集合です。
内容・コース等一部変更になる場合がありますので、
事前にお問合せ下さい。(開催日の2週間前より募集開始)